

平成27年度 予算案 江東区の注目事業

防災・まちづくり

平成27年度予算案の中から新たな取り組みを中心に、新年度に予定されている江東区の主な事業を紹介します。
【国財政課予算担当】(3647)1760

オリンピック・パラリンピックに向けて江東区のブランディング戦略を展開

1,970万円
東京オリンピック・パラリンピックに向けて、区の魅力ある未来像をイメージさせるブランドコンセプトを策定し、新たなシンボルマーク等を作成します。また、そのコンセプトを区民と共有するとともに、区外の人にも伝えるためのさまざまなPR方法の検討を行います。

江東区東京オリンピック・パラリンピック基金を創設

3億円
区が行う東京オリンピック・パラリンピック関連事業の財源確保や収支の明確化を図るため新たに基金を創設します。平成31年度までの間、毎年3億円を基金に積み立て、関連事業に活用します。

豊洲ふ頭内公園等の管理運営について民間提案を募集

1,047万円
豊洲ふ頭内の公園等について、区と民間事業者との連携による管理運営事業の導入に向け、民間提案を募集します。区と民間事業者が協働して管理運営を行うことで、民間活力や優れたアイデアを生かした魅力ある水辺空間の創出を目指します。

区内道路の無電柱化を推進

2,499万円
東京オリンピック・パラリンピック開催に伴い、競技会場周辺道路の無電柱化を進めます。国内外からの来訪者に対して、安全で快適な歩行空間の確保を図るとともに、都市防災機能の強化および良好な都市景観の創出を図ります。

江東区中央防災倉庫が完成

2億1,450万円
備蓄物資等を保管するとともに、他自治体からの救援物資等(主に水・食料等)の集配所と

小・中学校の増設

8億871万円
児童・生徒の増加に対応するため、(仮称)第二有明小・中学校の整備に向けた実施設計を行うほか、南陽・東雲・有明・北砂小学校の校舎を増設します。

認可保育所の整備

17億5,827万円
保育需要に迅速に対応するため、地域の状況等に応じて、認可保育所を整備し、1,000人程度の定員を確保します。

セーリングやカヌー体験を通して学校復帰や進学を支援

85万円
相談学級やブリッジスクール(適応指導教室)に通う児童・生徒を対象に、セーリング体験やカヌー体験、校外学習や職場体験を実施し、学校復帰や進学を支援します。

生活困窮世帯等のこどものまなびをサポート

1,256万円
生活保護受給者や生活困窮世帯のこどもの高校進学をサポートするまなび支援員の配置や、学習場所を提供する学習支援を行います。

認知症の早期の気づきと対応、家族支援を推進

147万円
認知症の進行状況に応じた適切なサービスの流れ(認知症ケアパス)を確立して、認知症の方や家族等に認知症をわかりやすく説明するためのガイドブックを作成、配布します。また、誰もが気軽に参加できる認知症

子育て・教育

豊洲西小学校の体育館棟を地域へ一般開放

1億8,987万円
4月開校予定の豊洲西小学校の体育館棟(体育館・温水プー

重症心身障害児(者)を介護する家族等への支援

603万円
日常的に医療的ケアが必要な重症心身障害児(者)の自宅に看護師を派遣し、家族等に代わって「医療的ケア」等を行います。介護をしている家族等が一時的に介護を離れ、リフレッシュすることで介護者の負担を軽減します。

生活にお困りの方への総合相談窓口を開設

6,205万円
生活困窮者に対し、失業、債務、住居などの生活上の問題解決に向けた支援を行う総合相談窓口を開設します。

環境美化対策の一環として、地下鉄駅の出入口階段に、「みんなでまちをきれいにするポストコーンクール」の平成26年度区長賞受賞作品を印刷した啓発シートを設置し、駅前の安全・美化を推進します。

26万円

健康・福祉

燃料電池自動車(水素自動車)を導入

1,601万円
買い替え時期が到来した区所有のガソリン車2台について、国・東京都の補助金を活用し、

緑・環境

環境美化対策の一環として、地下鉄駅の出入口階段に、「みんなでまちをきれいにするポストコーンクール」の平成26年度区長賞受賞作品を印刷した啓発シートを設置し、駅前の安全・美化を推進します。

26万円

産業・生活

区南部地域の拠点となる「豊洲シビックセンター」を開設

5億6,061万円
豊洲駅前出張所、文化センター、図書館等の施設を備えた区南部地域の公共・文化施設の拠点となる「豊洲シビックセンター」を9月に開設します。

地下鉄階段にポイ捨て・歩行喫煙防止の啓発シートを設置

26万円

環境美化対策の一環として、地下鉄駅の出入口階段に、「みんなでまちをきれいにするポストコーンクール」の平成26年度区長賞受賞作品を印刷した啓発シートを設置し、駅前の安全・美化を推進します。

26万円

生活困窮者に対する支援

1,256万円

生活困窮世帯等のこどものまなびをサポート

1,256万円

認知症の早期の気づきと対応、家族支援を推進

147万円

子育て・教育

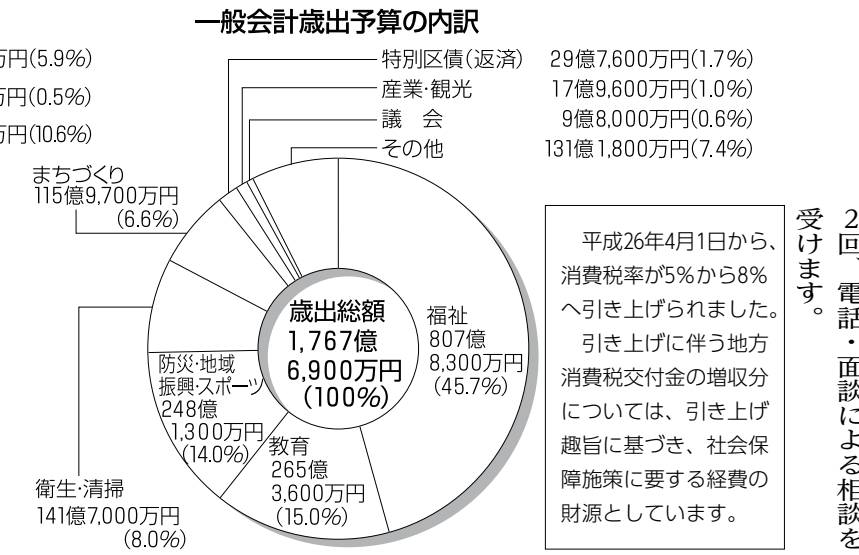
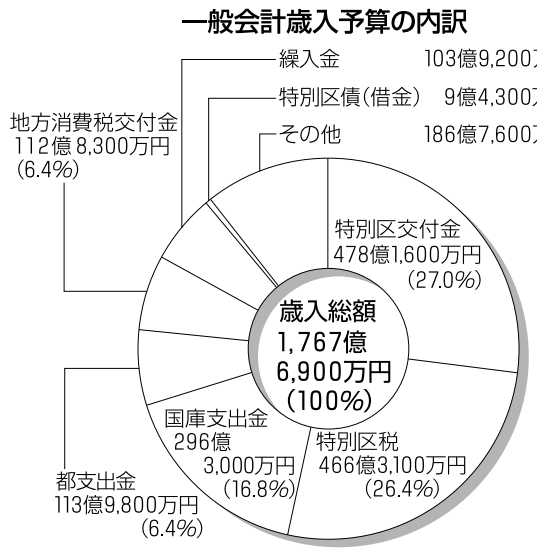
豊洲西小学校の体育館棟を地域へ一般開放

1億8,987万円

予算1万円の使いみち

この表は、平成27年度一般会計予算(案)を1万円に換算して目的別に表示したものです。

高齢者や子育て支援など福祉に	学校教育や図書館などに	防災対策・地域振興やスポーツ振興などに	医療・保健や環境・清掃事業などに	道路・公園の整備やまちづくりに	特別区債(借金)の返済などに	商工業・観光振興や消費者保護に	議会の運営に	その他(国民健康保険会計の資金などに)
4,570円	1,501円	1,404円	802円	656円	168円	102円	55円	742円



平成26年4月1日から、消費税率が5%から8%へ引き上げられました。引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分については、引き上げ趣旨に基づき、社会保障施策に要する経費の財源としています。

ひきこもり等の若者を支援する相談事業を本格的に実施
106万円
ニート・ひきこもり等の若者が抱える問題について、本人および家族を対象とした相談窓口を開設し、専門の相談員が月に2回、電話・面談による相談を受けます。